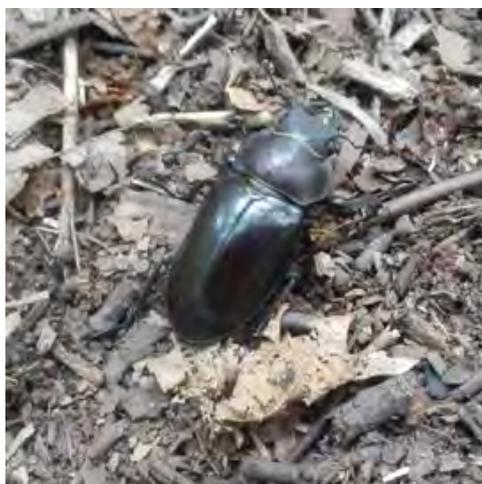


## ノコギリクワガタ

澄川の作業道を歩いているノコギリクワガタの♀に出会いました。この虫は夜行性なので、カブトムシ同様に昼間の森で出会うことは稀なのです。澄川の「兜虫の寝床」には幼虫がうようよいるのに、成虫が見られないのはそんなわけです。澄川基地まわりの夜の虫たちの行動を観察する機会がこの7月31日の夜にあります。恒例のホタル観察会ですが、炭焼き方々やるので、ホタルと炭焼きの煙にばかり気をとられて、闇に紛れて動くカブトやクワガタは目にははらないのでありましょう。



ノコギリクワガタはほぼ全国の広葉樹の森にいて、子供たちを虫好きにする功労者です。子供にとっては大きさといい姿といいすごく魅力的なのです。ナラやクヌギの樹液にカブトムシと一緒にいたりするので、昼間に樹液を確認しておいて、夜に懐中電灯を持ってそこを訪問すると、かなりの確率で出会うことができます。



ノコギリクワガタの幼虫は朽木の中でそれを食べます。澄川の基地周りではギャップの窪地に大量の朽木が集積されていますので、そこは「鋏形虫の寝床」となります。朽木を好む虫たちにとっては天国のような場所なのです。楽しみに見守りましょう。

澄川の森は全面的に朽木だらけなのです。整理伐や受光伐をした材を林床に接地させて腐朽を促進させていますが、それに協力してくれるのが、キクイムシたちやキノコたちなので、それらの生き物たちにとっては澄川の森は桃源郷でありましょう。



この日 2012 年 7 月 25 日は末日にする炭焼きのセッティングを済ませました。毎年のことなので、皆心得たもので、船頭なしでわいわいがやがやとみるみる仕上げてしまいました。いつでも点火可能です。